

社会福祉  
法人 豊中市社会福祉協議会

# ボランティアセンターだより

第66号 2017年(平成29年)10月31日  
発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会  
ボランティアセンターだより編集委員会  
〒560-0023 豊中市岡上の町2-1-15  
TEL(6848)1000 FAX(6848)1005  
URL: <http://www.toyonaka-shakyo-vc.org/>  
E-mail: [tcpvc@gold.ocn.ne.jp](mailto:tcpvc@gold.ocn.ne.jp)

ボランティアグループ  
あれこれ

## 外出支援グループ 「みちしるべ」編

私たちのボランティアグループ“みちしるべ”は、平成元年に発足しました。平成と共に歩んできた歴史あるグループです。開設当初は、高齢者や障害者の人たちへの外出介助、リハビリの手伝いが主でした。

平成12年に介護保険制度が施行された後は、それまでの活動も少なくなりました。特別な技能を持たないグループですが、現在は市内の小中学校からの車いす、アイマスク体験学習の指導や手伝いなど、また最近では、市内の高齢者や障害者施設からの行事の手伝いの依頼が増え、積極的に多くのメンバーが参加し、ボランティア活動を楽しんでいます。

自分には特別な技能はないけど、ボランティアをやってみたいと思っておられる方は、私たちの“みちしるべ”に顔を出してください。年齢、性別、国籍を問いません。



みちしるべメンバーで記念撮影（植村牧場見学）



車いす体験の指導

◎活動に興味のある方はお問い合わせください。

☆お問い合わせ

豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター「ぷらっと」  
豊中市岡上の町2-1-15 (豊中市すこやかプラザ2階)

☎ 06-6848-1000

☆定例会

日時：第4金曜日 10時00分～



※ボランティアセンターだよりは共同募金配分金を活用して発行しています。



# 「豊中アッシー」の活動について

今年度より、豊中アッシーの活動内容が変わりました。

今までは個別宅の移送サービスでしたが、平成29年度より豊中市内の校区福祉員会でのサロン活動や会食会への高齢者の送迎を主な活動としております。

校区福祉委員会で、利用されている方は、「坂道が多いので助かります」「雨の日は危ないので迎えに来てくれるとありがたい」など大変好評です。

運転に自信がある方、運転ボランティアに携わってみたい方は、一度定例会をのぞいてみてください！



メンバー全員で集合写真！！

## ★豊中アッシー定例会★

毎週第3木曜日 午前10:00～

豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター「ぷらっと」



## 新たに地域福祉活動支援センターがオープンしました (北丘・蛸池)

### 地域福祉活動支援センターってなに？

地域福祉活動支援センターは地域福祉活動を推進していくことを目的に設置されています。

- ① 地域福祉の担い手づくりの拠点
- ② ボランティア・地域活動の支援拠点
- ③ 福祉なんでも相談窓口のバックアップ



ボランティア登録  
もできます！

(北丘地域福祉活動支援センター)



住所

豊中市新千里北町3-1-2-1

セブンイレブン豊中新千里北町店 2階

TEL・FAX: 06-6835-2110

### 具体的には

- 講座の開催  
介護予防お助け隊による、介護予防講座など各種講座を開催
- ポスター・作品展示  
福祉の日ポスター展や障害者の作品展示、地域にお住まいの高齢者の作品展示など
- その他  
車いすの貸出し、福祉の店なかまの出張店やコミュニティカフェの開催、ボランティア相談窓口、ボランティア相談窓口、認知症当事者の憩いの居場所としてオレンジカフェを実施しているセンターもあります。

(蛸池地域福祉活動支援センター)



住所

豊中市蛸池中町2-3-1

ルシオーレ南館1階

TEL・FAX: 06-6850-7001



# ボランティアはじめの一步講座

これからボランティアを始めようと考えている方、始めて間もない方向けに「ボランティアはじめの一步講座」を開催しました。

1日目は市社協福祉推進室 勝部室長による講話。

2日目は市社協登録ボランティアグループ「みちしるべ」「ステッキ」の協力による車いす、アイマスク、インスタントシニア体験を行いました。今回初めての試みとして、事前に案内していた希望のボランティアグループの活動に同行し、体験していただきました。

3日目には実際に体験したボランティア体験の報告会を行い、他の人が参加したボランティアの感想を聞くことができました。

## ～参加者の声～

「いろいろな人の体験が聞けてよかった」「それぞれの方のボランティアへの想いが伝わってきた」

「ボランティアを終えた後に喜んでいただいた顔を見た時、自分も喜びと勇気をもらった」「ボランティアでの出会いも縁があると思いますので、そういう出会いに期待して活動を広げていきたい」



車いす体験



インスタントシニア体験（高齢者疑似体験）

## ボランティアはじめま専科 ～友愛電話訪問グループ 聴くの会～

平成29年9月28日（木）、「聴くの会」の活動紹介、桃山学院大学・関西学院大学非常勤講師の佐瀬美恵子さんをお招きし、「聴くの会」は、ひとり暮らしの方を対象に活動しているので、「自分らしいひとり暮らしのために」というテーマでお話しいただきました。

佐瀬先生にお話しいただくのも今年で5回目になり30名の方が参加されました。老年期のひとり暮らしを後悔しないためにはどうすれば良いのか？思わず身を乗り出して真剣に聞き入ってしまいました。ひとりになる前からの心の準備や、環境の組み立ての大切さを思い知らされました。



健康寿命や経済力、ご近所とのコミュニケーションなどの大切なポイントはもとより、いかに死ぬか、どこで死ぬか、そして死後の事にまで話が及びました。

ひとり暮らしの方もおられ、これからの生活を考えるのに、大変参考になりました。

先生のお好きな言葉「ひとりでも安心して尊厳をもって死ねるまちづくりへ」のためにも、早いうちにしっかりと一人暮らしのシミュレーションをし、確かな人間関係を作っておく、そうしてひとり暮らしを前向きに明るく迎えたいものです。（聴くの会 Y.S）



## ◆◆◆◆◆九州北部豪雨募金活◆◆◆◆◆

7月5日から九州北部を襲った記録的豪雨により、福岡県、大分県で甚大な被害を受けました。

そこで急遽、豊中市社協登録ボランティアグループ、市社協災害支援ネットワーク参画団体、校区福祉委員会に連絡し、7月14日、24日に募金活動を行いました。募金活動に初めて参加したボランティアグループの方は「こんなに多くの方が関心をもって募金をしてくれるなんて」と感動していました。「九州出身だから何かしたくて」という方も何人もいらっしゃいました。災害直後であったため、市民の方の関心も高く、多くの募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。



7月14日 岡町商店街での募金活動の様子



7月24日 豊中駅に集合したボランティア

1日目の岡町駅周辺商店街、豊中市役所周辺、2日目の豊中駅周辺をあわせ、合計98,000円の募金がありました。

お預かりした募金は日本赤十字社大阪府支部豊中市地区を通じて義援金として送金しました。



## 熊本地震農業支援ボランティアに行きました

昨年度の発災直後のボランティアバスに引き続いて、5月13日(土)熊本県西原村たんぼぼハウスを起点に、現地の農業支援ボランティアを行いました。

12名が西原村の名産「唐芋」の苗付けなどの作業を行いました。短い時間でありましたが、現地の方との交流もできました。崩壊したままの姿が今も残る家屋や遮断されている道など熊本地震の爪痕がまだ残っており、息の長い支援が必要だと感じられました。



### 災害ボランティアに参加して

2016年5月、被災直後の熊本県に、豊中市社協の災害ボランティアとして駆けつけた。家屋倒壊など被害は生々しく、学校体育館での避難生活が、始まって間もない頃だった。それから1年、今年5月に復興の進展を期待して、農業関係の災害ボランティアとして再び訪れた。1年前、私達が瓦礫撤去作業を手伝った住居は、災害補助基準に従い、建物を撤去して更地にする苦渋の選択をされた。地割れが残るその土地に、既に建物はなく、再会は果たせなかった。自然災害は、住民に長期間負担を強いる。それだけに継続的な支援が求められ、支援側との「絆」も欠かせない。今、「豊中めぐり」岡町菜園には、熊本県西原村の支援先農家から頂いたさつま芋が、故郷の復興を願いながら、元気に育っている。 登録ボランティアY.T



# 平成29年度 豊中市ボランティアバス ～被災地の今を知る～

平成29年8月16日(水)～19日(土)の4日間、豊中市の委託事業としてボランティアバスを運行いたしました。

行先は、岩手県大槌町、陸前高田市。今年は少し趣向を変えて、陸前高田市で民泊体験、ゆめゆめプロジェクトで協力させていただいた図書館の再建をお祝いしに図書館も訪問してきました。

参加高校生は19名（箕面自由学園高校1名、大商学園高校5名、桜塚高校2名、桜塚高校定時制4名、千里青雲高校3名、刀根山高校4名）と各高校の先生に引率していただきました。



学校の先生や家族に見送られ、ボランティアバスは出発しました。

## 大槌町



旧大槌町役場を見学

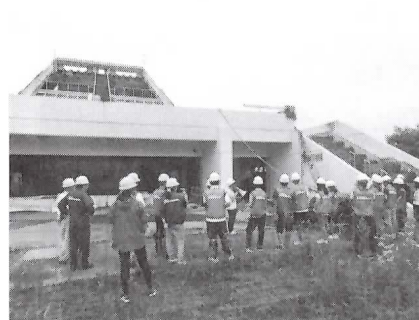


大槌町社協職員による災害ボランティア学習



大槌高校との交流会。HUG（避難所運営ゲーム）をしました

## 陸前高田市



旧道の駅タピック45。  
津波の圧力の大きさ、怖さを感じました。



陸前高田市長 戸羽市長による講話



陸前高田市立図書館を訪問



民泊。震災当時のお話や郷土料理を振る舞っていただきました。

### ～ 感想 ～

- ・この活動で一番大切だと思ったことは『命の大切さ』についてです。自分がまず生きなければ他人なんて助けることはできない。私は、まず自分自身の将来を考えようと思いました。
- ・4日間の東北ボランティアを通して、自分の命は自分で守る事、つらいことがあっても、みんなで前を向いて進もうとすることの大切さを改めて知りました。
- ・旧道の駅タピック45は震災遺構として震災当時のまま残っていて破壊された内部をみると津波の破壊力がとても大きいことを感じました。



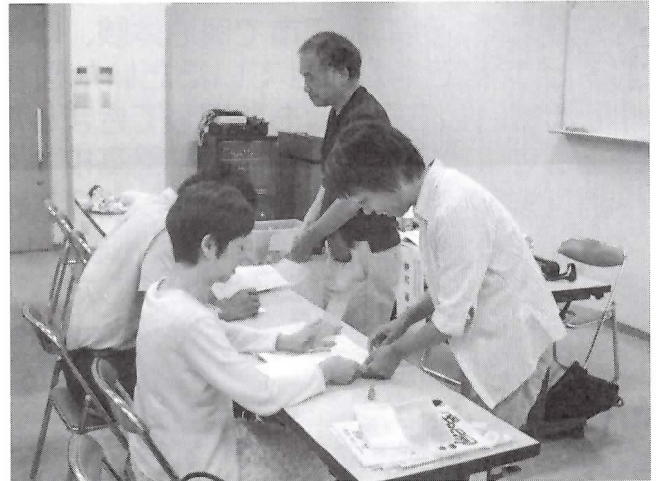
# 教職員のためのボランティア体験学習研修会

7月26日(水)小・中・高等学校教職員6名が参加され、車いす・インスタントシニア体験、アイマスク・点字体験の2つグループに分かれて体験を行いました。みなさん積極的に体験学習に取り組まれていました。体験後には、体験した事により、ボランティア体験学習の必要性、子ども達に伝えていくべき事について深く考える機会になった様子でした。

2学期以降にボランティア体験学習を予定しているとの回答もいくつか見られたので、今回の研修で学んだことを活かしていただけたらと思います。



インスタントシニア体験。実際に外を歩き、高齢者の感じている不自由さを体験しました。



点字体験。自分の名前を点字で打ちました。



## 第25回 豊中市社協ボランティアフェスティバルを開催します

私たちの豊中市社協ボランティア団体連絡会は、毎年ボランティアフェスティバルを開催しています。

このボランティアフェスティバルは、ボランティア団体連絡会加盟のグループ間の親睦と一般市民のみなさんへの啓発を目的としています。

今年度は、第25回ボランティアフェスティバルを2018年3月3日(土)に開催を予定していますが、第25回という節目の記念フェスティバルということで、従来とは少し違った記憶に残るフェスティバルにしたいと考えています。



昨年の展示ブースの様子

計画が具体化した時点で、定例のボランティア団体連絡会で報告させていただき、各グループのご協力をお願いする予定です。



昨年のステージ発表の様子

日時：2018年(平成30年)3月3日(土)  
10時～16時(予定)  
場所：豊中市立文化芸術センター  
小ホール・多目的室・展示室



# 夏のボランティア体験プログラム

例年行われているボランティア体験プログラムは、今年も7月1日～9月30日の期間で実施されました。小学1年生～社会人や高齢者、延べ115名の方が参加され、大盛況でした。

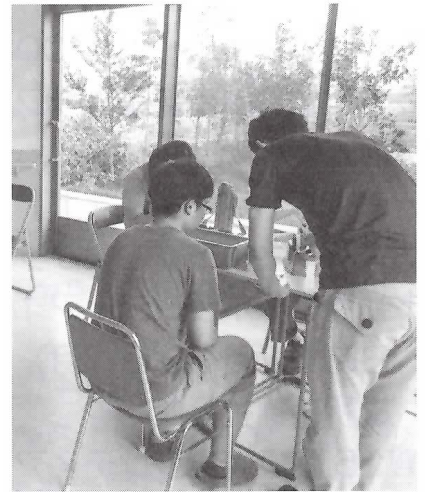
参加された方の感想の中に、「利用者さんが共に楽しんで下さるのが嬉しい、利用者さんの笑顔が見られた。」(社会人)「食事のお世話がたいへんだったが、園児たちと一緒に遊べていい思い出ができた。」(小学生)など、ボランティアさん自身が楽しんで参加されていた様子が分かる感想が多く寄せられました。



高齢者施設でドライヤーあて



お着替えの手伝い



釘の袋詰め作業

## ボランティア受け入れ施設連絡会議

6月29日(木)、福社会館にてボランティア受け入れ施設連絡会議を開催しました。

今年度は、ボランティア体験プログラムの受け入れ施設・団体と、とよなか地域ささえ愛ポイント事業の受け入れ施設に呼びかけをし、23施設・団体が参加しました。受け入れ側のさまざまな不安等を解消し、安心してボランティアを受け入れていただくことを目的に、大阪教育大学教授の新崎国広さんを講師にお招きしお話しいただきました。新崎先生ご自身の貴重な経験からボランティア受け入れの際のポイントを話していただきました。

参加された施設の方からは、「受け入れの意義や、大切なことの意味が分かりやすく説明され、今後、自園での取り組みに目標が持てました。」とのご意見や「大変わかりやすく、ボランティアの受け入れのハードルが自分の中で下がった気がします」とのご意見があり、大変好評でした。

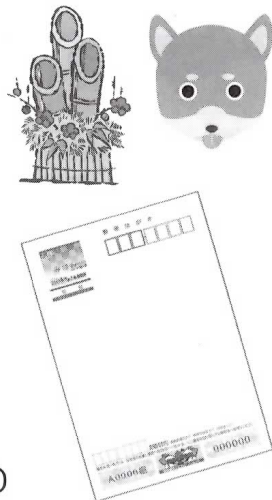




### <今後の予定>

#### ●年賀状ボランティア

日時：11月10日(金)  
 13日(月)  
 20日(月)  
 27日(月)  
 12月1日(金)  
 4日(月)  
 11日(月)  
 10:00~16:00



場所：豊中市すこやかプラザ 2階

#### ●災害支援訓練

日時：1月13日(土)  
 場所：豊中市すこやかプラザ 他

#### ●市社協登録ボランティア「新年の集い」

日時：1月29日(月)  
 場所：福祉会館

#### ●第25回豊中ボランティアフェスティバル

3月3日(土) 10:00~16:00(予定)  
 場所：豊中市立文化芸術センター

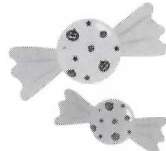
### <ボランティアカフェ>

「ボランティアカフェ(通称:ボラカフェ)」は市社協登録ボランティアグループにご協力いただき、大勢の方に楽しんでいただいております。



「ボランティアセンターぷらっと」に来訪されるみなさまに楽しんでいただいております。ぜひ一度ご賞味ください。

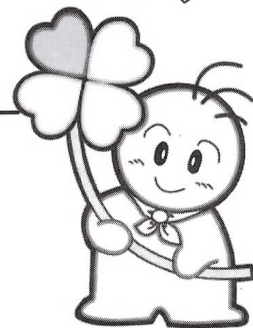
みなさまのお越しをお待ちしております!



★1杯 100円(お菓子付き)

日時：第1月曜  
 第2火曜・木曜  
 第4金曜  
 13:30~15:30  
 場所：ボランティアセンター  
 ぷらっと

ゆっくりくつろいでください♪



#### <東日本大震災支援金>

東日本大震災被災地への支援活動のひとつとして、被災地支援金を継続して受付しております。

金額⇒3,162円(平成29年4月1日~平成29年9月30日現在)

#### <熊本地震支援金>

平成28年4月に発生した熊本地震への支援活動の一環として、支援金を受付しております。

金額⇒2,186円(平成29年4月1日~平成29年9月30日現在)

#### <九州北部豪雨災害>

平成29年7月5日から6日にかけて発生した豪雨災害において、義援金を受付しております。

金額⇒107,018円(平成29年7月5日~平成29年9月30日現在)

### 編集後記

残暑もようやく終わりやっとな秋らしくなってきました。しかし大阪の夏はなぜこんなに暑いのでしょうか?日本中気温は上がるし、各地で集中豪雨があり災害が多発しており、これも地球温暖化の影響でしょうか?何とかしないといけないと切に思います。

これからは、“ふるる”さんの大根、白菜などの秋野菜の成長や豊島小学校の芋ほり、焼き芋が楽しみです。“あぐり”では、新たに米作りも始めました。

(団塊塾8人衆記)

#### ボランティアメール配信中!

QRコードを読み取っていただき、画面の指示に従って、ご登録ください。ボランティアに関する情報を配信しております。

URL <https://service.sugumail.com/toyonaka-city/>  
 ※上記URLからもご登録いただけます。

※登録申込は無料ですが、登録・メール受信にかかる通信料はご負担ください。

